

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公開番号】特開2001-120533(P2001-120533A)

【公開日】平成13年5月8日(2001.5.8)

【出願番号】特願平11-306427

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 0 K

A 6 1 B 6/03 3 3 1

A 6 1 B 6/03 3 5 0 R

A 6 1 B 6/03 3 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月4日(2006.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体にX線を照射するX線源と、

前記被検体を挟んで前記X線源と対向配置され、X線源のビームの幅方向に検出素子が複数チャンネル配置され、前記被検体の透過X線を投影データとして検出するX線検出器と、

前記X線検出器とX線源を連続回転させるスキャナと、

前記スキャナによりX線検出器とX線源を連続回転させながら該X線源からX線を照射し、複数方向の投影データを取り込み、該取り込まれた投影データに基づいて画像を再構成する再構成手段と、

該再構成された画像を表示する表示手段と、を備えたX線CT装置において、

前記被検体の関心領域を設定する関心領域設定手段と、

前記設定された関心領域のみにX線照射されるように前記スキャナの連続回転中に前記X線源のビームの幅方向に前記X線照射範囲を制限する制限手段と、

前記制限手段によって制限されたX線照射範囲により前記X線検出器のチャンネル配置方向の一片側の検出素子で得られるはずの投影データを、同じX線透過パスを通る前記X線検出器のチャンネル配置方向の他片側の検出素子で得られた投影データに置換する投影データ置換手段と、を備え、

前記再構成手段は、前記置換された投影データと前記取り込まれた投影データに基づいて画像を再構成することを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

前記関心領域設定手段によって設定される関心領域は円形であり、

前記制限手段は、前記円形の関心領域の半径に合わせて前記X線照射範囲を制限することを特徴とする請求項1に記載のX線CT装置。

【請求項3】

前記表示手段は、前記被検体全体の画像に前記関心領域の画像を重ねて表示する、又は前記被検体全体の画像の隣に前記関心領域の拡大画像を表示することを特徴とする請求項1又は2の何れかに記載のX線CT装置。